元気なまちづくりをめざして

16人の議員が一般質問

質問は９月７日、10日、11日の３日間で行いました。
（質問の順序は抽選で決められ、その順に各議員から提出された要約原稿のとおり掲載しています。）

問 子ども人権オンブズパーソン委員会を設置せよ
答 至急状況把握する

次田 典子 議員（無会派）

❶大津市のいじめ問題が社会問題化している。以前から子ども人権オンブズパーソン委員会の設置を訴えてきたが、教育委員会は検討してきたか。

教育部長 オンブズパーソンの研究検討について報告を受けていないが、至急情報把握に努める。

❷例えば市内の中学校では53人、つまり各学級に1人以上の不登校生がいる。それに比べて市が設置した不登校生の通所施設（ポットラック）への通所は少なすぎる。見直しをすべきだ。

教育部長 不登校児童・生徒への対応は学校で行うのがベターだと考えるが、ポットラックを充実していくのはやぶさかではない。

❸さいたま市で開催された生活保護問題の議員研修会に出席して考えさせられた。お笑い芸人の問題から生保バッシングが吹き荒れた。しかし、この制度で命を繋ぐ人が殆どだ。他市のような水際作戦をせず、今後の社会情勢から増加数を予測して、ケースワーカーを増やして自立に向けた取り組みを強めるべきだ。

保健福祉部長 最後のセーフティーネットとして適正な運用を行うとともに自立のための就労支援にも力を入れていく。

❹市役所には職員専用の喫煙室が設けられているが、廃止するべきだ。勤務中に席を立ち、クーラーの効いたところでゆっくりとタバコを吸っている姿はいいものではないし職員の健康上もよくない。まず市長が率先してタバコをやめるべきだ。

総務部長 職員の健康管理の視点から啓発指導していく中で職員の喫煙室についても検討する。

❺脱原発の声が高まっている。再度、脱原発に向けた市長の認識を問う。

市長 原発依存から脱却すべきと考える。そのために、引き続き国に対して再生エネルギーへの転換を市長会を通じて要望していく。

不登校生の通所施設 ポットラック

問 8月大雨時の職員配置は
答 適切配置と人的投入できた

南部 登志子 議員（無会派）

❶災害対策について㋐8月13～14日の大雨による市内の被害状況（道路、河川、側溝、下水道、農業用水、公共施設、民家、田畑含む）は。㋑警報発令から被害発生過程において、職員や消防団員の方々の招集・配置は適切・迅速に行われたか。㋒㋐、㋑を踏まえた上で今後の対策や課題は何か。排水ポンプの稼働力向上や河川のしゅんせつ、床上浸水の被害発生から、学生マンション経営者との連携や介護事業所等を防災体制の中に位置づけることも必要ではないか。

安心まちづくり室長 ㋐道路の陥没、路肩崩壊、道路の冠水、土砂流入、民家への床上・床下浸水、農業被害など報告を受けている。㋑当日は災害警戒本部1号体制を敷き、職員55名と消防団員88名の要員で対応を図り、14日未明から建設部や経済環境部職員など18名をさらに動員した。こうした配置は地域防災計画で定めており、適切な配置と人的投入ができた。㋒被害状況を検証し、今回のような想定を超える豪雨での防災体制のあり方を地域防災計画にも反映し、体制強化に努める。

建設部長 ㋒数年前から排水困難地調査を行い、整備改善を図っていたので、排水が改善された場所もあるが、依然脆弱な場所もある。また、側溝に蓋があることで道が川になった。これらを一つの教訓とし、市民の理解をいただきながら、防災対策に生かしていく。しゅんせつについては常々府に要望を行っている。

❷普賢寺地域について。少子化問題は他地域と比較しても深刻な課題。土地利用の改善やUターン・Iターン制度の導入が必要と考えるが。

総務部長 少子化問題は普賢寺地域の課題のみならず、市全体、国全体で取り組むべき課題。Uターン・Iターン制度導入は現行法上難しい。

低地住宅地の浸水被害を防ぐため
強制排水される馬坂川側面の排水口

問 天津神川の整備見通しは
答 流出抑制対策を協議中

小林 喜代司 議員（新栄会）

❶本市の中心市街地を流れる天井川である天津神川は昭和43年頃に河床をコンクリート化に施工されて以来、全く整備はされていないが、上流域は大きく開発されてきた。下流域の市民からは、早急な整備を望まれている。平成16年第2回定例会で整備を要望して以来、再三、安全対策を要望しているが、進んでいない。8月に発生した宇治市の天井川の決壊事故もあり、市民の安全確保のために、河川管理者の府とどのような協議を進めているのか。

建設部長 府に対して切り下げ改修を要望しているが、馬坂川、防賀川の改修を行っており、早急な河川改修工事は望めない状況にある。漏水防止、耐震対策について協議を行い、必要な整備改修を実施している。暫定的な流出抑制対策について市が主体となり、府を始め関係機関と協議を行っている。河川が天井川であり氾濫すると大きな被害をもたらすことを念頭に河川管理者の府に改修を強く申し入れる。

❷JR片町線京田辺駅の輸送力増強に伴う整備により最終列車の20分繰り下げ、始発列車の15分繰り上げが実施され利用者から喜ばれているが、多くの市民の要望である始発、最終列車の京田辺駅までの延長運転、田辺地区の信楽街道踏切、興戸地区の第2和井田踏切及び久保踏切の整備の交渉は進められているのか。

安心まちづくり室長 3月のダイヤ改正で始発列車は15分早く、最終列車は20分遅く運行されている。今後も利便性の向上にむけてJRに要望を行っていきたい。

建設部長 信楽街道踏切は来年3月に完成の予定で整備を進めている。第2和井田踏切と久保踏切については、市内全域の踏切の統廃合の課題もあり、早急な整備は非常に困難な状況にある。

道路の上を横断している天津神川（天井川）

議会日誌

【8月】
1日 広報編集特別委員会
2日 広報編集特別委員会管外研修（～3日）
8日 幹事会
24日 文教福祉常任委員協議会
27日 議会運営委員会（30日）
28日 幹事会

【9月】
3日 第3回定例会〈議案上程〉
7日 第3回定例会〈一般質問〉
10日 第3回定例会〈一般質問〉
11日 第3回定例会〈一般質問〉
13日 建設経済常任委員会
18日 総務常任委員会
19日 文教福祉常任委員会
21日 議会運営委員会（25日）
27日 幹事会
第3回定例会〈議案採決〉
広報編集特別委員会

【10月】
5日 決算特別委員会（16日、18日、22日、23日、30日）
10日 全国市議会議長会研究フォーラム（～11日）
12日 広報編集特別委員会（17日、26日）
18日 栃木県鹿沼市議会行政視察来庁
24日 山形県東根市議会行政視察来庁
31日 群馬県太田市議会行政視察来庁
（以上主なもの）